

ABSTRACT OF THE DISCLOSURE

第1の発明は、アニオン交換樹脂を触媒としてフェノール類とオキシラン化合物を反応させることを特徴とする芳香族エーテル類の製造方法である。

第2の発明は、溶解度パラメーターが7.5～12.5の溶媒を用いて晶析精製する工程を有し、これにより、アルコール性水酸基を有する芳香族エーテル類を製造する方法である。

第3の発明は、金属の含有量が100 ppm未満（質量基準、以下同じ）であり、且つハロゲン元素の含有量が100 ppm未満である、アルコール性水酸基を有する芳香族エーテル類である。